

新年のごあいさつ

市民目線に立った オンリーワンのまちづくり



島原市長
古川 隆三郎

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は皆様にとりまして、どのような年であったでしょうか。

本市の出来事を振り返りますと、昨年の最大のイベントは、「長崎がんばらば国体」、「長崎がんばらば大会」の開催です。多くの市民の皆様をはじめ中学・高校生の皆様にもボランティアや競技役員として携わっていただき、島原市をあげての「おもてなしの心」で大会を成功に導いていただきました。

また、島原藩松平家のルーツであります愛知県幸田町、姉妹都市の京都府福知山市、兄弟都市の大分県豊後高田市の市長・町長が一堂に会した「松平家歴史ゆかりのサミット」も開催しました。松平家まつわる歴史や文化をひも解き、市民の皆様にご紹介するとともに、新たな交流促進についても確認し合うことができました。さらには、豊後高田市との災害支援協定の締結や、姉妹都市締結30周年を記念した福知山市への友好親善訪問も行い、友好都市との絆をさらに強くすることもできました。

他にも、白山地区における「ゾーン30」の指定や、長崎県の自治体として初めて公益財団法人日本サッカー協会と提携して開始した「こころのプロジェクト夢の

教室」、福岡県大牟田市との「観光交流協定」による交流促進などにも取り組んだ1年でありました。

本年は、私が就任して3年目となります。就任以来、市民の皆様とお約束した次の重点7分野を果敢に実行し、市政の更なる振興に努めてまいります。

①市民目線に立った行財政改革の推進
②産業の振興と島原地域ブランドの確立

③歴史と文化を生かした観光都市づくりと交流人口の拡大

④子育てにやさしいまちづくり

⑤高齢者や障がい者などを思いやる福祉の充実

⑥島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

⑦安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

本年は、特に人口減少対策を最重要課題と位置付け、「とことん子育てにやさしい街」、「高齢者が輝く街」、「若者がチャレンジできる街」の3つの柱を中心に、若年層の流出抑制やふるさとへのU・Iターン誘導を促すための施策、子育て、高齢者福祉、雇用拡大などの施策につきまして、過疎対策事業債を有効に活用しながら積極的に展開することで、島原らしい個性を生かしたまちづくりに取り組んでまいります。

市庁舎の建て替えについては、いよいよ



白山地区の通学路に交通規制区域「ゾーン 30」が指定されました



愛知県幸田町と「友好交流推進協定」を締結しました



長崎がんばらんば国体（サッカー競技成年男子）で3位入賞を果たした長崎県選手団の皆さん



新ふるさと納税（ふるさとしまばら寄付金）がスタートしました



「夢の教室」で夢先生（サッカー元日本代表の三浦淳寛さん）とゲームを楽しむ湯江小児童



福岡県大牟田市と「観光交流協定」を締結しました

よ本格的な設計業務に入ります。昨年新庁舎の設計業者を決定するため公開プレゼンテーションを実施しましたが、今後、市民の皆様が利用しやすく、将来の市の振興の拠点となるような新庁舎建設を目指し進めてまいります。

「ふるさと納税」につきましては、昨年12月から島原らしさを認定された特産品である島原スペシャルクオリティ商品を活用した新たな制度を導入し、これまでの実績を大きく上回る効果がありました。今後も島原の魅力を発信できる施策と組み合わせながら、島原のファンを獲得してまいります。

友好都市との交流につきましては、昨年幸田町と締結した「歴史と文化の友好交流の推進に関する協定」に基づき、幸田町との交流促進に向けた取り組みを進めるとともに、姉妹都市の福知山市や兄弟都市の豊後高田市との交流も進めてまいります。

交流人口の拡大につきましては、昨年購入した「かんざらし」で有名な銀水の復元や、鯉の泳ぐまちに建設中の観光交流施設の本格的な稼働により、多くの観光客が「島原のまち歩き」を楽しんでいただけるような施策や、観光施設の充実にも積極的に取り組んでまいります。

教育の分野では、小中学生の学力向上対策や、子どもたちが夢を語る「夢の教室」

の継続、学習環境の整備と地域との触れ合いの場としても期待される校庭芝生化の拡充、スポーツの競技力向上を目指した取り組みなども進めてまいりたいと考えています。

こうした施策により、「島原に住んでみたい」、「島原を訪れてみたい」、「島原で就職し地域の担い手になりたい」という「市民目線に立った オンリーワンの島原」の実現に向け取り組んでまいります。そして、そうした本市の重要課題解決への大きな転機となりうる地域高規格道路「島原道路」の整備促進や、九州新幹線長崎ルートの開業を見据えた公共交通の連携強化などについても、これまで以上に国・県をはじめ関係機関と連携し取り組んでまいります。

このような施策を推進していくためには、市民一人一人が主役として、共に取り組んでいただくことが不可欠です。市民力を結集し「街が賑わい 人がふれあい 支えあう」市民が主役の島原市を創るため、引き続き全力でまい進してまいります。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年は、4月1日で市制施行75周年の節目の年を迎えます。

皆様にとりましても、本年が素晴らしい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。